



『でんきの安全と安心をおとどける』 (有)原田電工社

京都の日本海側にある「伊根の舟屋」へ行ってきました。



四所駅

北近畿タンゴ鉄道の四所駅から電車に揺られて40分、途中大雨で宮津駅で足止めされましたが、なんとか天橋立駅に到着。昼食を済ませて外へ出ると、雨が上がっていました。

お約束の股のぞきをしにビューランドへ。さっきまでの雲はどこへやら。良い景色を見せてくれました。



天橋立を後にして、伊根の舟屋へ車で移動。



伊根花火



伊根の舟屋(いねのふなや)は京都府与謝郡伊根町伊根地区にある民家の種類の一つであり、船のガレージが家の1階にあり、海面すれすれに建築されている伝統的構造物を言うそうです。土台や柱は椎の木、梁は松の原木を使い、1階は舟揚場、物置、作業場があり、出漁の準備、漁具の手入れ、干物の乾場、農産物置き場などいろいろ活用されている。2, 3階は住居、民宿などの生活の場だそうです。この海は干満の差が少ないためにこのような建物が考えられたようです。238軒ある「舟屋」の、海から見た風景はなんとなく懐かしく幼い頃を思い出すような気がします。



この素晴らしい景色のため、映画やドラマの撮影場所としても人気で「男はつらいよ 寅次郎あじさいの恋」「釣りバカ日誌5」NHK連続テレビ小説「ええによぼ」など、このロケーションを求めてくるほどの景色はやっぱり素晴らしかったです。



- 1・突発修理はすぐ対応する。
- 2・仕事を選ばない。
- 3・なぜ頼まれたかを考える。
- 4・仕事の目的の目的を知る。

伊根湾めぐりの遊覧船に乗っての「伊根の舟屋」巡りでしたが、カモメやウミネコが手に持ったエサを直接食べに来てビックリ。突然大きいトンビも参戦してきてお客さんは大喜びでした。

